

# マイクロ・ティーチングの相互評価のルーブリック

6分のマイクロ・ティーチングにおいて、能動的な学修活動に注目した授業計画、児童・生徒の能動的学修への教師の役割が発揮されているか ※初出 2015年7月9日福井県教育研究所・教職員研修講座

評価基準	すばらしい (3)	もう少し (2)	もっと (1)
<b>知識・理解</b> 児童・生徒の学修活動に注目した授業デザインである。	授業計画には、教科の文脈に応じた活動（話す、書く、発表する）が配置され、目標に直接関連していた。	授業計画には、活動（話す、書く、発表する）が配置されていたが、到達目標へは強く関連していなかった。	授業計画には、活動が適切に配置されず、到達目標と学びを直接関連させる必要があった。
<b>表現・思考</b> 能動的な学修活動を促す、指示・発問がなされている。	学修活動の目的・手順が明確に指示され、発問に探究心と動機づけを触発するだけの深さを伴っていた。	学修活動の手順が明確に指示され、発問によって活動の開始を促すことができた。	学修活動の目的・手順が明瞭に指示されず、発問が浅く改善が必要であった。
<b>態度</b> 教師の姿勢・ファシリテーションスキルが意識されている。	ペア・グループの活動の重要性を示し、他者を互いに受け入れる協同的な価値観を尊重し、直接に促した。	ペア・グループの活動を協同的に行うために、他者の考えや活動を互いに受け入れる協同的な価値観を尊重できた。	指示的な態度で教科内容を伝達することはできるが、活動を協同的に行う受容的態度には改善が必要であった。
コメント:			

## 授業計画(マイクロ・ティーチングのための)

氏名: \_\_\_\_\_

授業の到達目標:	想定授業時間:	授業の効果:
項目(分)	教師の活動	児童・生徒の活動